

平成26年度全国学力・学習状況調査結果と指導改善計画〔国語〕三原市立南方小学校

本年度通過率

	国語A	国語B
本校	80.9	63.0
広島県	75.9	58.3
全国	72.9	55.5

本年度の結果について

○国語科の結果において、A問題は80.9、B問題は63.0の通過率となっている。領域別に見ても、それぞれの領域において全国平均及び県平均を上回るかほぼ同等の結果がでている。この結果、基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考える。しかし、一方で「漢字」に課題が見られる。

○昨年度は、「推薦文を比べて読み、推薦している対象や理由を捉えること（読むこと）」や「目的や意図に応じ必要な内容を適切に引用して書くこと（書くこと）」に課題が見られた。そこで、「①朝の帯タイムの時間を使って「論理スキルブック」に取り組み、論理的に考えたり表現したりするスキルの定着を図ること」「②授業の中に「考え方のツール」の手法を取り入れ、必ず自分の考えの根拠を説明させる取組を行うこと」「③新聞記事をファイリングし、内容を読み取った感想を書かせたり、友だちの感想と比べさせるといった活動を取り入れること」の3点に取り組んだ。その結果として、「読むこと」では、作者の意見と感想を区別して読み取ったり、段落の要点を読み取ったりする力が伸びてきた。また「書くこと」では、自分の考えを根拠をつけて文章化したり、発言したりすることにたいする抵抗感が薄れてきた。

成果と課題

教科学力調査から

【定着している内容】

- 【詩1】と【詩2】を比べて読んで考えたことを書く。(78.3%, 全国平均+30.2%)
- 大野さん②の発言に対し、書き手の立場から質問か意見を書く。(56.5%, 全国平均+28.2%)
- 故事成語の使い方として適切なものを選択する。(82.6%, 全国平均+26.8%)

【課題】

- ☆①司会④の発言の内容をまとめて書く。(47.8%, 全国平均-17.4%)
- ☆②林さん⑤の質問のねらいとして適切なものを選択する。(52.2%, 全国平均-8%)
- ☆③漢字を書く。(52.2%, 全国平均-7.1%)

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。(95.6%, 全国平均+34.2%)
- 国語の授業で意見などを発表する時、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。(91.3%, 全国平均+32.8%)
- 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気を付けて書いていますか。(91.3%, 全国平均+20.6%)

【課題】

- ☆④「国語の勉強は好きですか」という質問に対して、肯定的評価は73.9%どまりで、他のアンケート項目に比べて20%近く落ち込んでいる。自己肯定感が低い。

課題等に対応した改善指導内容及び方法（授業）

☆①

○日常の学習の中に、文章から大事な言葉や共通のキーワード等を見つける活動を取り入れる。そのキーワードや言葉を使って要旨を短く的確にまとめる練習をさせる。

☆②

○学級会活動等を通して、友だちの発言の意図を捉えたり、その発言に対して意見を述べたり質問したりする場をできるだけ多く多く設定する。

☆③

○漢字の成り立ちや意味により深く触れさせる活動を取り入れて、漢字の面白さを感じさせるとともに、漢字を活用する機会を増やす工夫を行う。(例：日記帳に使われた漢字の数を数えるなど)

☆④

○単元を貫く言語活動を充実させるなど、活動自体に意欲が持てるよう授業を工夫する。また制作したものやまとめたものを発表させたり振り返らせたりすることで達成感が持てるように授業を進める。

平成26年度全国学力・学習状況調査結果と指導改善計画〔算数〕三原市立南方小学校

本年度通過率

	算数A	算数B
本校	86.2	70.6
広島県	80.7	60.1
全国	78.1	58.2

本年度の結果について

○算数科の結果において、A問題は、86.2、B問題は70.6の通過率となっている。領域別にみても、それぞれの領域において全国平均及び県平均を上回る結果がでている。この結果、基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考える。しかし、一方で「小数の四則計算」「数量感覚」において全国平均及び県平均を下回っており課題が見られる。

○昨年度は、「数と計算」「領と計算」の領域に課題が見られた。特に理由や根拠を説明する問題の正答率が53.8%と大きく落ち込んでいた。そこで次の2点を工夫して改善に取り組んだ。

①修学旅行計画や日常生活の場面を利用して、選択した理由を根拠をもって説明させるようにする。さらに説明内容を振り返って、過不足がないかを考えさせることで、より良い説明ができるようにする。

②式と答えといった結果だけでなく、結果に至るまでを文章化させたり説明させたりする活動を豊富に取り入れる。

その結果、初めは、文章や言葉で説明することに抵抗がある児童が多かったが、繰り返しの中で、抵抗感も徐々に薄れ、意欲的に前に出て説明する姿が見られるようになってきた。

成果と課題

教科学力調査から

【定着している内容】

- 8㎡に16人いるAの部屋について、1㎡あたりの人数を求める式を書く。(82.6%、全国平均+21.8%)
- コンパスを使った平行四辺形の書き方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ。(73.9、全国平均+21.9%)
- 示された分け方でスープを分けたとき、残りの30人にスープを分けることができるかどうかを選び、そのわけを書く。(60.9%、+30.3%)

【課題】

- ☆① $9 - 0.8$ を計算する。(78.3%、全国平均-5.5%)
- ☆② $2 \div 5$ の計算をする。(87%、全国平均-4.8%)
- ☆③ 8㎡に16人いるAの部屋の様子を表している図を選ぶ。(78.3%、全国平均-4%)

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 算数の勉強は、好きですか(91.3%、全国平均+25.2%)
- 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えていますか。(100%、全国平均+33.7%)
- 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないか考えます。(95.7%、全国平均79.4%)

【課題】

- ☆④「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか」の質問では肯定的評価が82.6%と、他の項目に比べて10%程度低い。

課題等に対応した改善指導内容及び方法(授業)

☆① ☆②

- 朝学習等の時間を活用してドリル学習・家庭学習等で反復練習に取り組む。(量と質を高める)
- 個別指導を強化する。

☆③

- 文章問題は、図をかかせるなど、文章の意味を考えさせて立式させる。また文の意味がイメージしやすくなるよう、具体物を提示する。

☆④

- 公式やきまりを導き出す過程を大切にする授業を行う。導き出した公式には意味があることを言葉・図・式・数値・グラフ等と関連付けながらしっかり考えたり説明させたりする活動を仕組む。